

园艺治疗学部 の学術会議にて

微妙に違う漢字。でも見ると何となく理解できそうな漢字な感じ。でも、聴くとまったく分からない感じ。それが中国語と日本語の関係でしょうか？

このたび、北京の中国社会工作联合会心理健康工作委员会园艺治疗学部主催の园艺疗法与康复景观高峰论坛暨园艺治疗学部第一届学术与实践研讨会（以下、学術会議）に参加させていただきました。

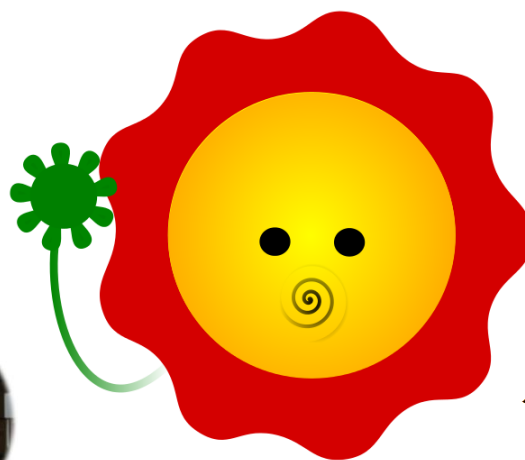
学術会議の論文集での当方のテーマは「園芸社会学」の確立に向けて（「园艺社会学」的「確立」）でした。この論文のきっかけは、サークルTKのU先生とK先生からいただきました。U先生とK先生からのきっかけは、今回の学術会議でW先生とL先生にもお会いできるきっかけとなりました。これが「縁」（'En' is used in Japan as dynamically changing fateful social relationships on jobs or private lives. It has a good connotation like 'luck' in English basically. ¹⁾）でしょうか。

学術会議は中国語が中心でしたが、日本の園芸療法や園芸福祉の大研究者のM先生や日本の病院での園芸療法の大実践家のN先生にもお会いすることができました。その他、北京だけでなく香港など、いろいろな地域で活躍されている先生方にもお会いすることができました。米国の方からの報告もありました。まさに、参加できたことが、「谢谢大家」です。

その他、レセプションでは向こうの方の中国文化的ないろいろな「芸」も見られ、「很愉快」です。また、個人的に知りたかったけど、分からなかった中国曲の曲名が鄧麗君の「甜蜜蜜」²⁾であったという当方30年間の謎もそこで解けて、「真高兴」です。

そこで、一句。

園芸が 巡り廻って 縁芸に 谢谢。



你好

植いき新聞



植物いきいきサークル

第87(花)号

苔じぞうさま編

発行者:犬丸、乌云、李、上町、加藤

1) http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1446827279 (閲覧 2015. 10. 27)

2) <https://www.youtube.com/watch?v=vwNy03cDcGA> (閲覧 2015. 10. 27)